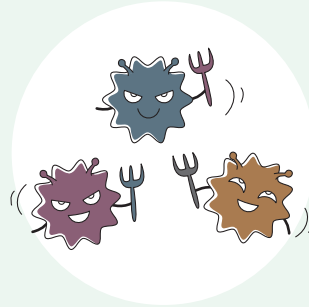


# 髪のあれこれ

## 【シリーズ】12 気になる頭皮のにおい



毎日シャンプーをしたり、整髪料を使っているのになぜか頭皮のにおいが気になってしまうことはないでしょうか。特に夏は汗もかきまわすし、自分だけでなく「周りの人にも気づかれてしまっているのでは?」と心配になる方も多いかもしれません。今回は、気になる頭皮のにおいを防ぐ方法についてご紹介します。



### においの原因は皮脂の酸化や雑菌の繁殖

頭皮のにおいは、皮脂が酸化したり、雑菌が繁殖したりすることが原因とされています。皮脂が酸化したにおいは、毛穴に詰まった皮脂が洗髪で落とされずに残り、過酸化脂質へ変化することで発生します。一方、雑菌の繁殖によるにおいは、頭皮に皮脂やフケが多く、それらをエサとする雑菌が繁殖しやすい環境下にあることで発生すると考えられています。

### 洗髪時の予洗いとマッサージが大切です

皆さんは日頃、どのように洗髪していますか？ 洗髪時に、きちんと毛穴まで洗浄できなければ、意味がありません。しかし、洗浄力の強いシャンプーを使うのはかえって逆効果。必要以上に皮脂が失われると頭皮の乾燥を防ぐために体が大量の皮脂を分泌してしまうのです。要は、適切な洗浄力を持ったシャンプーを使うこと。そして、シャンプー前に頭全体を十分にお湯で濡らして予洗いをします。ここで、指の腹を使っていねいにマッサージするのがポイント。この予洗いで、汚れの約60%が落ちます。シャンプーをつけた後も、頭髪よりも、頭皮を重点的にマッサージするように洗ってみましょう。頭皮のケアには、抗酸化成分が配合されている商品を使うと一層効果的です。



次回、シリーズ13では「ヘアサイクルとは」についてご紹介します。



株式会社アートネイチャー

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-40-7  
TEL.03-3379-3334  
www.artnature.co.jp



JHair 日本毛髪工業協同組合加盟



## 皆様と“笑顔”で50周年を迎えるために

株主ならびに投資家の皆様には、日頃より温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。2015年3月期(2014年4月1日から2015年3月31日まで、以下「当期」)の連結業績と今後の取り組みについて、ご報告とご説明を申し上げます。

### ■ 当期の業績概況と今期の目標

当期は、さらなる成長を目指して、強みの源泉である「商品開発力」や販売スタッフの「技術力・接客力・商品提案力」をより一層強化するなど、お客様の定着推進に注力しました。また、カンボジア新工場の立ち上げ準備など、生産拠点の整備も行いました。

これらの取り組みにより特に男性向けが好調に推移した結果、売上高は412.8億円(前期比3.2%増)と、5期連続で増収を達成することができました。一方、消費税引き上げ後の駆け込み需要による反動減の影響を克服すべく、女性向けを中心に販売促進関連費用を積極的に投下したことなどにより、営業利益は40.4億円(同24.9%減)、経常利益につきましては42.6億円(同

代表取締役会長兼社長  
五十嵐 祥剛



Our Vision  
経営理念

ふやしたいのは、  
笑顔です。

毛髪コンサルタントを使命とし、お客様に満足頂ける毛髪文化を創造します。  
よりポジティブな生き方、より美しく輝きのあるライフスタイルを提唱します。  
グローバル・ネットワークで、最高の品質と最良のサービスを提供します。  
広く社会から信頼される経営を通して、常に豊かで潤いのある未来を築いていきます。

21.9%減)となりました。当期純利益におきましては2015年度税制改正における法人税率引き下げによる繰延税金資産の取り崩しによって法人税が増加したことなどが影響し、22.5億円(同28.1%減)となりました。

2016年3月期(2015年4月1日から2016年3月31日まで、以下「今期」)は、当期の反省点をしっかりと施策に落とし込むことで、売上高450.9億円(当期比9.2%増)、営業利益45.8億円(同13.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益27.8億円(同23.9%増)を達成したいと考えています(各事業の当期業績と今期の取り組みについては、P5～8の「特集」をご覧ください)。

なお、配当につきまして、当期は一株当たりの年間配当金を27.5円\*とさせていただきます。今期につきましては、0.5円増配の年間28円\*を予定しています。

\*2014年11月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を実施。数値は分割換算後の値

### ■ 中期的な取り組みについて

当社はこの度、2018年3月期を最終年度とする3年間の中期経営計画を発表しました。最終年度の目標は、売上高が519億円、経常利益率12%以上、そしてROEを13%以上と設定しています。

この目標を達成すべく、当社は5つの取り組み課題を軸に事業を推進していきます(P4参照)。そのポイントは、まずお客様満足度向上によるお客様数の増加です。これは商品やサービス、広告宣伝の質の向上によって実現させます。

次に、開発・購買・生産・物流・広告宣伝・営業・管理などバリューチェーンの各段階において効率を追求し、より盤石な利益構造を確立します。同時に従業員一人ひとりの収益マインドと生産性を高め、グループ全体の収益を向上させます。

これらの取り組みを実際に推進する従業員に対しては、一人ひとりの能力開発や健康の維持増進をサポートし、生産性アップを促します。そして、ガバナンスを強化し、健全な経営体制を持続する仕組みを確立します。

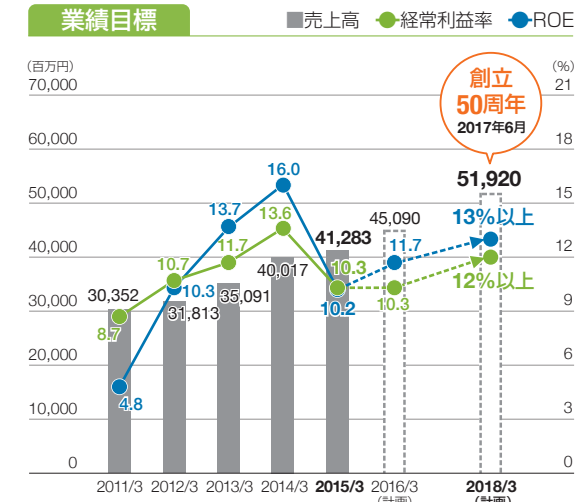
以上の取り組みを通して目標を達成することで、安定配当を基本方針に株主の皆様からの日頃のご支援にお応えしたいと考えています。

### 中期経営計画 (2016年3月期～2018年3月期)

#### 取り組み課題

1. 高いお客様満足度と効率性を両立させた強い営業体制の確立
2. 高品質・短納期・低コストの商品供給を実現するグローバルな生産体制の確立
3. 収益マインドの醸成と生産性向上による盤石な利益構造の確立
4. 変革にチャレンジする強い人財の育成と働きがいのある職場風土の確立
5. 社会からの要請に応え信頼を得られる健全な経営体制の確立

#### 業績目標



### ■ 半世紀の節目に向けて

当社は、2017年6月に創立50周年を迎えます。私はこの創立50周年を感謝の気持ちをもって、当社にかかわるすべての方々——お客様、お取引先様、株主の皆様、地域の皆様、そして従業員——とともに笑顔で迎えたいと考えています。

この実現のためには、前述の中期経営計画の達成が必須と考えています。これに向け、すべての役員・従業員が一丸となって目標に真摯に向き合い前進する所存です。

今後のアートネイチャーの取り組みに、どうぞご期待ください。

代表取締役会長兼社長 **五十嵐 祥剛**

# メンズ増収も、レディース減収と苦戦

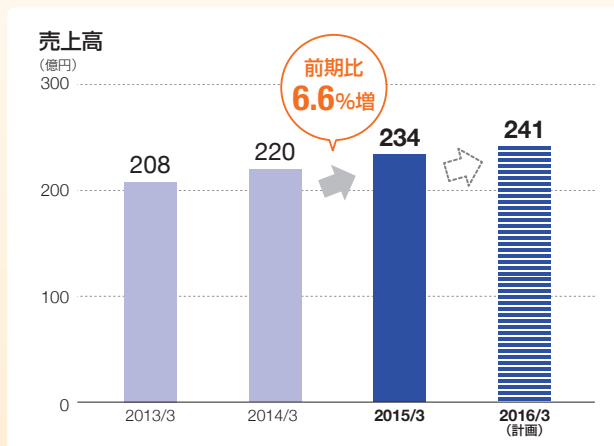
## 当期の概況

**Men's** 成約率アップへの  
取り組みが奏功

売上高比率 **56.8%**

メンズ部門では、かねてより注力してきた、営業担当であるカウンセラーのスキルアップを目的とした研修などの取り組みが成果として表れ、新規成約率のアップにつながりました。

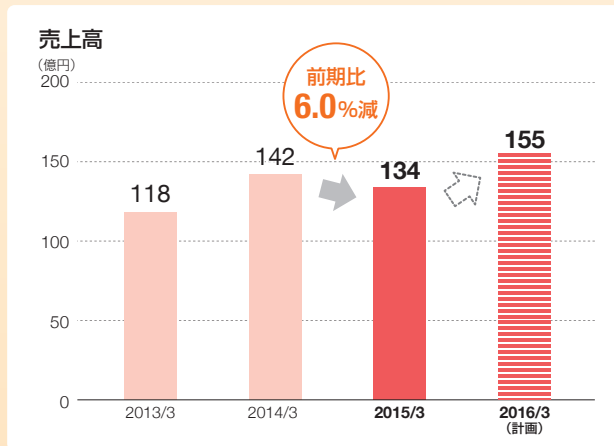
リピートのお客様には、スタッフによる担当制を強化し、一人ひとりにあった商品・サービスを提供することによって、さらなる定着化に努めました。これらの結果、メンズ部門全体では前期比6.6%の増収で、売上高234億円となりました。



**Ladies** 消費増税の影響を  
受け減収

売上高比率 **32.5%**

レディース部門では、消費増税前の駆け込み需要の反動からの消費低迷が長引き、反響数の減少など、営業面で苦戦しました。トップシーズンである秋冬に向けて、展示試着会の開催を増加させるなど販売戦略を強化し、さらに9月には簡単に装着できる当社独自の構造を採用した新商品「フォルテチャーム」を投入し、多くの反響を得ることができました。しかしながら、結果として前年を捉えるには至らず、前期比6.0%の減収で、売上高134億円となりました。



## 今期の施策

### 個々のスキルアップで、お客様数を拡大します

当期はレディース部門において、課題の残る実績となったものの、サロンへご試着やご相談などに来られるお客様が増えていることから、ターゲットとしているシニア層のウィッグへの関心は依然として高いと実感しています。

今期はそのお客様の需要を喚起するため、スタッフ個々のサービスレベルの引き上げに取り組み成約率向上につなげていきます。さらに展示試着会においては、会場選定や開催エリアをより精査し、効率的な運営を実践します。このような施策によって前期比15.4%増の売上高155億円を目指します。

メンズ部門では、お客様を増やすことに注力していきます。長期的・継続的にお客様にご来店いただけるよう、カウンセラー、店舗スタッフの提案力、技術力を向上させます。また、定期的にご来店いただけていないお客様の来店促進に取り組み、リピート売上増加につなげます。

今期、メンズ部門ではこれらの施策によって前期比2.6%増の売上高241億円を目指します。



メンズ・レディース営業本部長  
森安 寿一

## PICK UP

### 新增毛商品 「ラピーダロイヤル」発売



アートネイチャー独自のベース素材(ラクティブベース)を生え際のフロント部分と一体化させることで、より地肌になじみ、自然な見た目を実現する新增毛商品「ラピーダロイヤル」を2015年3月に発売しました。気になるところに欲しい分だけ、自毛を活かしながら髪が増やせます。



松平 健さん出演の新CM

### オーダーメイドウィッグ 「フォルテローザ」発売



新開発の「ローザライン機能」でふんわりシルエットを実現したレディースオーダーメイドウィッグの新商品「フォルテローザ」を2015年4月に発売しました。髪が根元からふんわりと立ち上がり、理想的なボリューム感に仕上がります。さらに汗や熱を吸収するベース素材「コンフォートクール®」の新採用で、着け心地も爽やかです。



野際 陽子さん出演の新CM

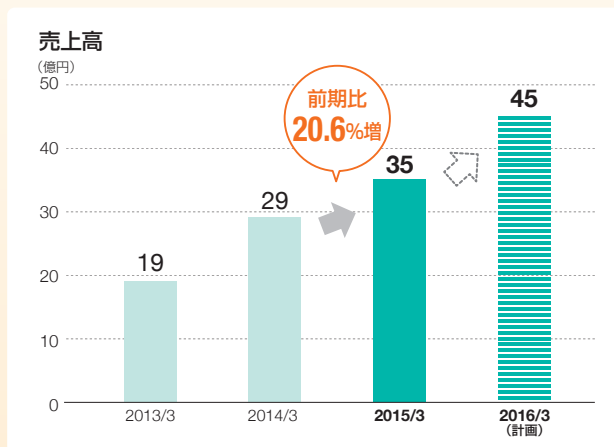
# 積極的な店舗展開と認知度向上で増収に

## 当期の概況

JO **販売網の拡大により、売上高20%アップを実現** 売上高比率 **8.6%**

女性向け既製品ウィッグのジュリア・オージェ (JO) 部門では、前期までの堅調な伸びを背景に成長戦略を実践し、出店ペースを加速させて27店舗を新規出店、全国78店舗体制としました。販売網の拡大を図った結果、売上高35億円、前期比20.6%増となりました。

また、お客様が入店しやすいように間口を広げ、明るく清潔感のある店舗づくりに努めるとともに、購買層から支持の高いタレントを起用したテレビCMを展開するなど、ブランド認知度向上にも注力しました。



## 今期の施策

### 店舗における営業と管理両面の強化で売上高45億円を目指します

今期は、売上高25.6%増の45億円を目指します。新規出店の展開とともに、管理面の強化を最重要課題とし、各店舗の採算管理の強化、スタッフ教育への注力によって、売上増のみならず、利益も着実に増大させながらの成長を目指します。

既存店では、より魅力の高い新商品を投入し、ラインアップの拡充によってリピート販売への訴求を強化します。店舗以外では、通販サイトへのアクセス数を増やす施策やテレビショッピングでの放送枠の獲得に取り組み、売上拡大につなげます。

また、堅調に成長している医療向けウィッグでは、医療機関との関係強化を図るなど、販売ルート確保に取り組みます。

これらの施策により、JO事業全体において今期計画の達成とさらなる成長を目指します。



JO 営業本部長  
佐竹 圭介

## 海外での取り組み

アジア市場において、女性向け既製品ウィッグの販売を中心に展開しています。

2011年の中国現地法人設立に続き、2012年にシンガポール、2014年にマレーシアに現地法人を設立。さらに2015年には、タイに進出しました。成長著しいアジアにおいて、ウィッグで髪の悩みをカバーするだけでなく、女性のファッションアイテムのひとつとして提案し、定着させていきます。



### 中国現地に根ざした店舗展開を推進

中国進出当初は日系デパート中心だった出店も、近年は現地資本の百貨店などにも広げ、より現地に根ざした店舗展開を進めています。

JO商品は、中国での競合他社と比べると高価格帯の商品ですが、同国の今後の成長、ファッションアイテムへの関心の高まりを見据え、当社商品・サービスへの認知度とブランド力の向上を図り、中国での成長につなげたいと考えています。



中国事業担当部長  
廣松 幸一



東南アジア事業担当部長  
田井 英幹

## 芸能用かつら製造・販売会社の株式会社三川屋を子会社化

当社は、これまで培ってきた毛髪にかかわる技術力や商品力を活かし、業容の拡大に取り組んでいます。

当期は、「ウィズ～オズの魔法使い～」をはじめとする舞台やテレビ番組、映画などにウィッグ協力を実施。さらに芸能分野でのかつらの製作、ヘア・メイクアップなどに高い技術力とノウハウを有する株式会社三川屋を子会社化(株式会社アート三川屋)しました。エンタテインメント分野での活動を積極的に展開していきます。



スーパーソウルフルミュージカル「ウィズ～オズの魔法使い～」

エンタテインメント分野での活動を積極的に展開していきます。

## 「アートミクロン プラビ」が「ショップチャンネル」の最も売れた商品第3位に

24時間365日生放送のショッピング専門チャンネル「ショップチャンネル」において、2014年度の販売実績から、販売個数で最も「売れた商品」第3位に「アートネイチャー 増毛&白髪隠し 特別セット」(アートミクロン プラビ)がランクインしました。

手軽に使用できる商品特長が、長年の愛用者はもちろん、はじめての方まで多くの支持を集めました。



「アートミクロン プラビ」

## 「第29回日本がん看護学会学術集会」にブース出展

2015年2月28日・3月1日、パシフィコ横浜にて開催された「第29回日本がん看護学会学術集会」に医療向けウィッグ「ANCS(アックス)」ブースを出展しました。

ブースでは医療向けウィッグの商品展示とパンフレット配布を実施。がん治療に携わる医師・看護師・看護学生など多数の来場者に対し、認知度拡大に努めました。



「ANCS」展示ブース



## 財務ハイライト

### 経営成績

商品開発力の強化や販売スタッフのレベルアップによるお客様の定着推進、展示試着会の積極的開催、女性向け既製品ウィッグの販売店の拡大などの諸施策を実施した結果、売上高は41,283百万円(前期比3.2%増)となりました。

利益面については、販売促進関連費用の積極的投下などにより営業利益は4,042百万円(同24.9%減)、経常利益は4,264百万円(同21.9%減)、当期純利益は2,252百万円(同28.1%減)と増収ながら減益となりました。

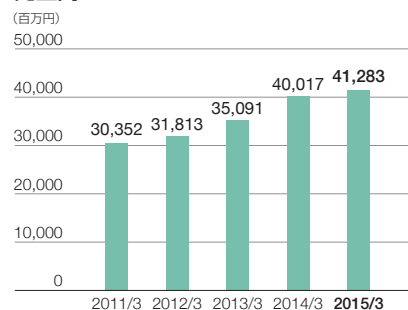
### 財政状態

総資産は、流動資産が619百万円減り、固定資産が4,012百万円増えたことにより、41,147百万円(前期末比3.393百万円増)となりました。

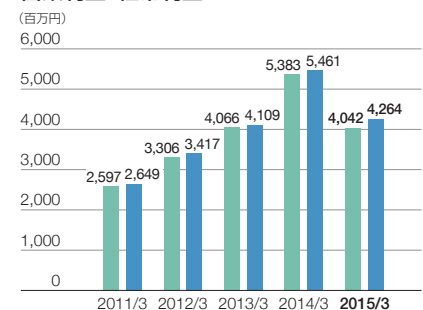
負債は、固定負債が長期借入金の発生等で1,763百万円増加したことなどにより、18,134百万円(同1,789百万円増)となりました。

純資産は、利益剰余金が1,415百万円増加したことなどにより、23,012百万円(同1,603百万円増)となりました。

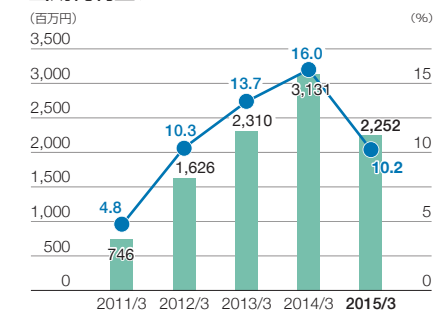
### 売上高



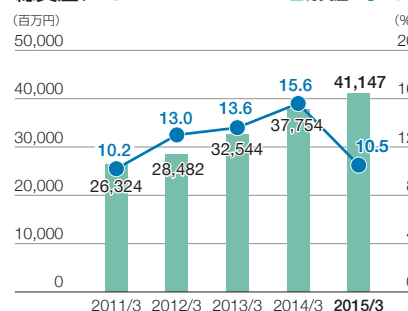
### 営業利益、経常利益



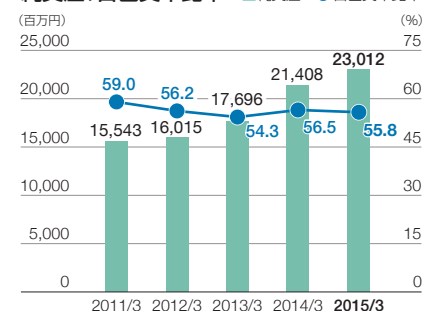
### 当期純利益、ROE



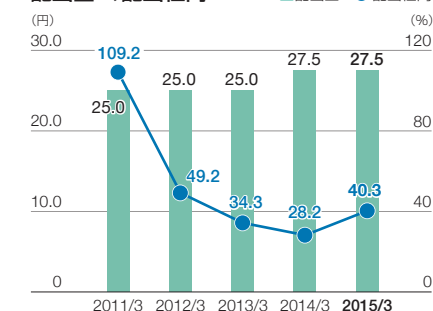
### 総資産、ROA\*



### 純資産、自己資本比率



### 配当金\*、配当性向



\*ROA: 営業利益+受取利息+受取配当金 / 総資産(期中平均)

\*分割換算後の値(2014年11月、1:2の分割を実施)

## 要約連結財務諸表

注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

### 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	2015年3月31日現在	2014年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>25,233</b>	<b>25,852</b>
現金及び預金	14,288	14,690
売掛金	3,794	4,950
有価証券	2,020	2,019
商品及び製品	1,918	1,511
仕掛品	168	124
原材料及び貯蔵品	1,336	1,034
繰延税金資産	564	609
その他	1,154	932
貸倒引当金	△12	△19
<b>固定資産</b>	<b>15,913</b>	<b>11,901</b>
有形固定資産	11,125	6,835
無形固定資産	734	445
投資その他の資産	4,052	4,620
<b>資産合計</b>	<b>41,147</b>	<b>37,754</b>

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	2015年3月31日現在	2014年3月31日現在
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>	<b>11,324</b>	<b>11,298</b>
<b>固定負債</b>	<b>6,810</b>	<b>5,047</b>
<b>負債合計</b>	<b>18,134</b>	<b>16,345</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>	<b>22,745</b>	<b>21,308</b>
資本金	3,663	3,662
資本剰余金	3,552	3,550
利益剰余金	16,041	14,626
自己株式	△512	△531
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>215</b>	<b>40</b>
その他有価証券評価差額金	12	3
為替換算調整勘定	365	167
退職給付に係る調整累計額	△162	△129
<b>新株予約権</b>	<b>41</b>	<b>51</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>11</b>	<b>8</b>
<b>純資産合計</b>	<b>23,012</b>	<b>21,408</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>41,147</b>	<b>37,754</b>

### 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	2014年4月1日から 2015年3月31日まで	2013年4月1日から 2014年3月31日まで
<b>売上高</b>	<b>41,283</b>	<b>40,017</b>
売上原価	11,063	10,316
<b>売上総利益</b>	<b>30,219</b>	<b>29,701</b>
販売費及び一般管理費	26,177	24,318
<b>営業利益</b>	<b>4,042</b>	<b>5,383</b>
営業外収益	303	217
営業外費用	81	138
<b>経常利益</b>	<b>4,264</b>	<b>5,461</b>
特別利益	112	1
特別損失	161	57
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>4,216</b>	<b>5,405</b>
<b>法人税、住民税及び事業税</b>	<b>1,882</b>	<b>2,458</b>
<b>法人税等調整額</b>	<b>78</b>	<b>△187</b>
<b>少数株主損益調整前当期純利益</b>	<b>2,254</b>	<b>3,134</b>
<b>少数株主利益</b>	<b>2</b>	<b>3</b>
<b>当期純利益</b>	<b>2,252</b>	<b>3,131</b>

### 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	2014年4月1日から 2015年3月31日まで	2013年4月1日から 2014年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,343	2,728
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,714	△1,313
財務活動によるキャッシュ・フロー	859	364
現金及び現金同等物に係る換算差額	110	45
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△400	1,824
現金及び現金同等物の期首残高	16,710	14,885
現金及び現金同等物の期末残高	16,309	16,710

より詳細な財務情報は、当社ホームページでご確認いただけます。 <http://www.artnature.co.jp/ir>

当社は、株主・投資家の皆様へ公平かつ適時適切な情報開示が行えるよう、ホームページでもさまざまな情報を発信しています。決算説明会の動画配信やタイムリーな株価表示など、当社への理解を深めていただくために有用な情報を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



決算説明会の動画配信



四半期比較が可能な財務ハイライト



20分ディレイの株価情報

### 連結株主資本等変動計算書 (2014年4月1日～2015年3月31日)

(単位:百万円)

科 目	株主資本				株主資本合計	その他の包括利益累計額				新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
<b>2014年3月31日残高</b>	3,662	3,550	14,626	△531	21,308	3	167	△129	40	51	8	21,408
会計方針の変更による累積的影響額			70		70							70
<b>2014年4月1日反映残高</b>	3,662	3,550	14,697	△531	21,378	3	167	△129	40	51	8	21,479
<b>連結会計年度中の変動額</b>												
新株の発行	0	0			0							0
剰余金の配当			△907		△907							△907
当期純利益			2,252		2,252							2,252
自己株式の取得												-
自己株式の処分		1		19	20							20
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						9	198	△32	174	△9	2	167
<b>連結会計年度中の変動額合計</b>	0	1	1,344	19	1,366	9	198	△32	174	△9	2	1,533
<b>2015年3月31日残高</b>	3,663	3,552	16,041	△512	22,745	12	365	△162	215	41	11	23,012

# 会社概要／株式情報

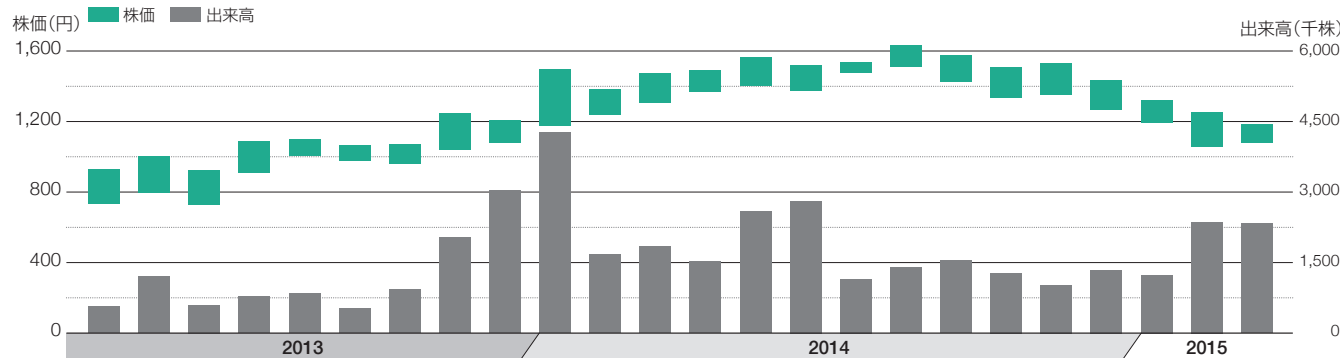
## 会社概要 (2015年3月31日現在)

社名 株式会社アートネイチャー  
(英文社名:ARTNATURE INC.)  
本社所在地 〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-40-7  
TEL.03-3379-3334  
創業 1965年4月  
設立 1967年6月  
資本金 36億6,337万円  
従業員数 3,137名(単体:2,370名)  
連結子会社 国内4社／海外8社

## 取締役及び監査役 (2015年6月24日現在)

代表取締役会長兼社長 五十嵐 祥剛  
取締役副社長 林 俊一  
常務取締役 五十嵐 啓介  
常務取締役 森安 寿一  
取締役 川添 久幸  
取締役 佐竹 圭介  
取締役 内藤 功  
社外取締役 長尾 二郎  
社外取締役 小橋川 保子  
常勤監査役 小林 芳雄  
社外監査役 佐野 真  
社外監査役 長谷川 恭昭

## 株価および出来高



※2014年11月1日付で1:2の分割を実施。数値は調整後の値

## 株式の状況 (2015年3月31日現在)

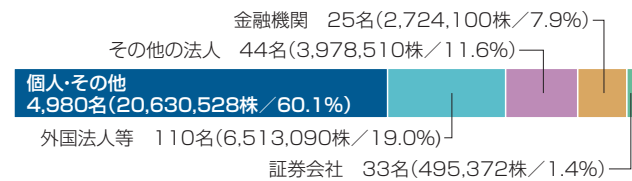
発行可能株式総数(株) ..... 110,880,000  
発行済株式の総数(株) ..... 34,341,600  
株主数(名) ..... 5,192

## 大株主 (2015年3月31日現在)

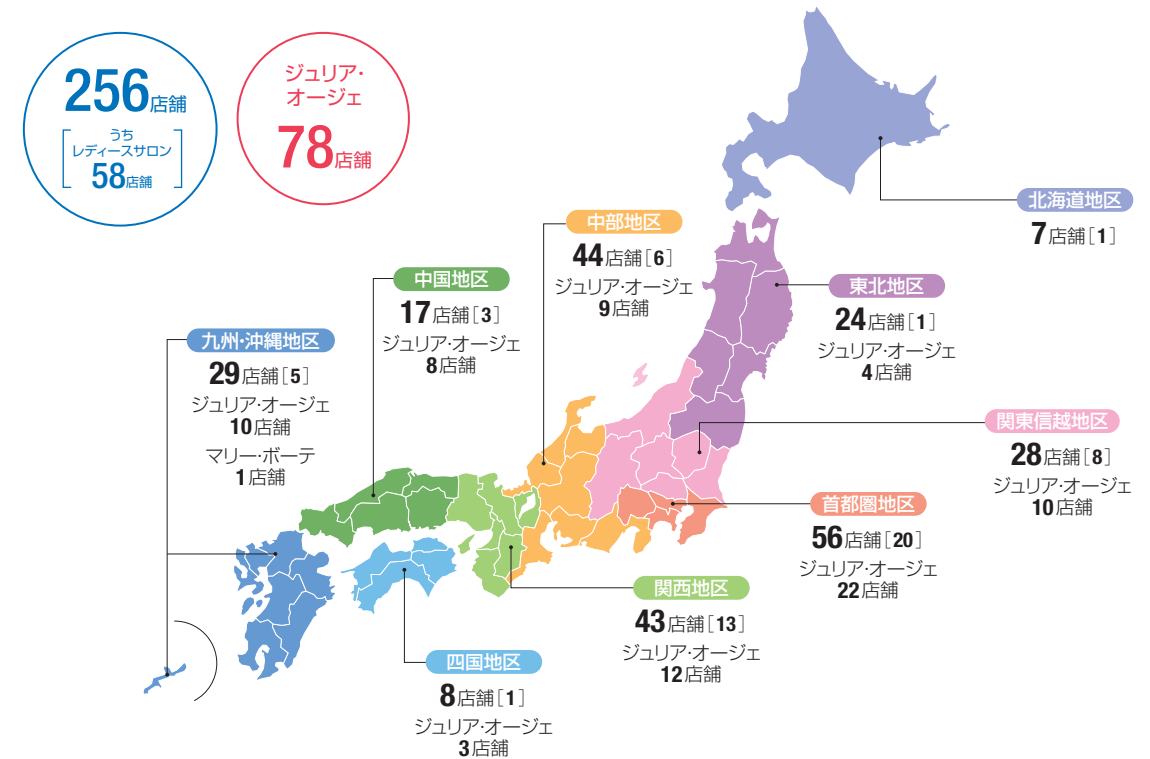
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
五十嵐 祥剛	6,237,140	18.7
有限会社アイ・コーポレーション	3,302,000	9.9
塚本 武	2,550,600	7.6
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	1,391,000	4.1
五十嵐 啓介	989,200	2.9

※当社は自己株式(1,116,338株)を所有しておりますが、上記大株主からは除いています。

## 所有者別株式分布状況 (2015年3月31日現在)



## 店舗ネットワーク (2015年3月31日現在)



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日  
 剰余金の配当基準日 3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)  
 定時株主総会 毎年6月下旬  
 単元株式数 100株  
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 みずほ信託銀行株式会社  
 公告方法 電子公告(www.artnature.co.jp)  
 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店	お取引の証券会社になります。	みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。